

# VISA

カード番号体系イニシアチブ：  
取得および発行への影響  
ディスカバリーインタビューの結果



著作権に関する重要な情報

© 2021 Visa. All Rights Reserved.

注意: 本書はVisaが所有権を有するものです。Visaから事前に書面による許可を受けることなく、本書のすべてまたは一部を複製、公開、配布したり、またはその他の人物に開示してはなりません。

商標、ロゴ、商号およびサービスマーク (総称して「商標」) は、登録の有無に関わらず、Visaが所有する商標です。Visaに帰属しないその他のすべての商標は、それぞれの所有者に所有権があります。

注: 本書は、Visa規則の一部ではありません。本書または本書で参照される文書、本書の添付書類、または本書に関連する情報と、Visa規則の内容との間に何らかの矛盾がある場合は、Visa規則が優先されます。

---

本書には一般的な情報のみが含まれており、デロイトは本書によって、会計、事業、財務、投資、法律、税務、またはその他の専門的なアドバイスやサービスを提供するものではありません。本書は、そのような専門的なアドバイスやサービスに代わるものではなく、事業に影響を与える可能性のある決定や行動の基礎として使用されるべきではありません。事業に影響を与える可能性のある決定や行動をとる前に、資格のある専門アドバイザーに相談してください。デロイトは、本書に依存する者が被ったあらゆる損失について責任を負わないものとします。

# エグゼクティブサマリー

## 概要

国際標準化機構は、ISO/IEC 7812-1、識別カード – カード発行金融機関の識別 – パート1: 番号システムを改訂しました。カード発行金融機関の識別番号 (INN) (または発行BINとも呼ばれる) を拡張するために、番号システムは現在の6桁から8桁の数値になります。2020年の初めに、Visaはデロイトと協力して、発行BINの拡張が、内部システムおよび処理、Visaクライアントのベンダーとクライアントに対して及ぼすと予想される影響について、選ばれた一部のVisaクライアントとのグローバルインタビューを実施しました。このインタビューでは、加盟店契約会社、加盟店契約会社プロセッサ、カード発行金融機関およびカード発行金融機関プロセッサが、この変更に対処するための計画を立てる際に該当するトピックに焦点が当てられました。

**「インタビューでは、どのVisaクライアントにとっても、内部システムと処理、クライアントのベンダーとクライアント全体に対して、広範囲にわたる発見と影響評価を実施することがいかに重要であるかわかりました」** – デロイトの、グローバルカード番号体系インタビューチーム

## 概要結果

インタビューしたクライアント全員が、固有の処理とシステム全体において発行BINを使用していました。したがって、発行BINの拡張の影響はクライアント間で大きく異なります。本報告では幅広い影響領域に触れていますが、各クライアントの評価アプローチは、組織およびクライアントのサードパーティに合わせてカスタマイズする必要があります。その評価の実施後、クライアントは調査結果を利用してソリューションを設計し、必要な労力を見積もり、必要な変更を実装しテストすることができます。以下の例は、インタビューで特定された影響のほんの一部です。

- インタビュー参加者の47%が、**取引処理**ライフサイクルの少なくとも1つのステップに影響があると特定しました。たとえば、一部の加盟店契約会社は、製品タイプ (例: プリペイド、コマース、フリート/ガソリンなど) を識別するために発行BINを使用しています。
- インタビュー参加者の50%以上が、発行BINの7桁目または8桁目が製品の特定に使用された場合、**BINおよびPAN割り当て戦略**への影響があると特定しました。さらに、クライアントは、製品管理システム、製品パフォーマンス報告およびロイヤリティと特典の対象への影響を特定しました。
- インタビュー参加者の69%が、POSハードウェア、端末ソフトウェアおよびBINテーブルへの影響を含む、**加盟店の販売時点情報管理**処理への影響を特定しました。
- 発行と取得全体に及ぶインタビュー参加者の63%は、**不正利用規則**およびサポートシステムへの影響を特定し、25%は不正利用報告への影響を確認しました。
- インタビュー参加者の50%以上が、**データウェアハウス**およびアプリケーションテーブルのコア処理システムの外部にあるデータ要素として発行BINを保存しています。
- ATMをサポートしているインタビュー参加者の43%が、ATM取引処理への影響を特定しました。たとえば、これらのクライアントの大部分が、「米国における」処理を特定するのに発行BINを使用していました。

## 次のステップ

- 本報告を詳細にレビューし、貴社で共有し、貴社のカード番号体系計画をサポートしてください。本報告には、影響の例が多く挙げられているほか、主要な重点分野に関する一般的なガイダンスも含まれています。
- 貴社の影響評価の追加のインプットとして、付録およびオンラインにあるアンケートをご利用ください。
- 追加のリソースは、[VisaOnline.com](https://www.visaonline.com)にあります。詳細は28ページをご覧ください。

# 目次

概要 .....	5
インタビューの詳細結果 .....	10
カード番号体系プロジェクト管理 .....	10
取引の処理 .....	12
ATM .....	14
発行製品管理 .....	15
カード会員サービス .....	16
加盟店販売時点情報管理 .....	18
加盟店サービスおよび異議申し立て .....	19
不正利用管理 .....	20
データウェアハウジング .....	21
PCI DSS留意事項 .....	22
アクションプラン .....	23
付録 .....	24
リソース .....	24
加盟店契約会社／加盟店契約会社プロセッサアンケート .....	25
カード発行金融機関／カード発行金融機関プロセッサアンケート .....	29
Visaカード番号用語 .....	32

# 概要



国際標準化機構は、ISO/IEC 7812-1、識別カード—カード発行金融機関の識別—パート1: 番号システムを改訂しました。カード発行金融機関の識別番号 (IIN) (または発行BINとも呼ばれる) を拡張するために、番号システムは現在の6桁から8桁の数値になります。

Visaはデロイトと協力して、発行BINの拡張により予想される影響について、一部のVisaクライアントとのインタビューを実施しました。インタビューは以下の質問に焦点を当てました。

## 1. クライアントが特定した影響領域は何ですか？

- 発行BINはどのように使用されますか？
- どのような変更が必要になりますか？

## 2. クライアントが直面している未解決の問題や課題は何ですか？

- クライアントは、Visaまたは他のサードパーティ(例: 地元の規制当局)からのさらなるサポートを必要とするリスクまたはオープンな判断を特定しましたか？

## 3. クライアントはカード番号体系の準備をする軌道においてどの時点にいますか？

- クライアントは分析フェーズを完了しましたか？
- クライアントは自社のサードパーティと関与していますか？

# アプローチ



## 仮説を立てる

当社は、Visaと決済業界の専門家に相談し、決済エコシステム全体で発行BINを使用できる機能領域の初期ビューを作成しました。



## インタビューの実施

2020年の初め、当社は、加盟店契約会社、加盟店契約会社プロセッサ、カード発行金融機関、カード発行金融機関プロセッサを代表するペイメントバリューチェーン全体において、Visaクライアントにインタビューを実施しました。インタビューでは、クライアントが変化する数値を使用する方法と、クライアント固有の影響領域に焦点が当てられました。



## 影響の文書化

この報告ではインタビューの結果を要約し、クライアント全体、また場合によってはサードパーティ全体のシステムとプロセスへの影響を文書化しました。

## 参加者インタビューの概要

当社は94カ国において事業を行うVisaのクライアントに33のインタビューを行いました。業界標準が大きく変更していることを考えると、これは大きなサンプルではありません。しかし、目的は、統計的に有意な一連の回答を得ることではなく、クライアントが準備の取り組みにどのようにアプローチしたか、すでに特定した影響、準備度の課題に関する洞察を収集することでした。各インタビューで得た回答は、一組織に起こりうるすべての影響を示すものではありません。



## クライアントセグメント

個々のインタビューでは、加盟店契約会社／加盟店契約会社プロセッサまたはカード発行金融機関／カード発行金融機関プロセッサに該当するトピックにフォーカスしました。インタビューの参加者が加盟店契約会社とカード発行金融機関両方の役割を持っており、両方の領域で洞察を共有できる場合は、通常、クライアントの異なる参加者に対して、別のインタビューを行いました。

インタビュー参加者がクライアントに提供する機能、またはサービスと製品、および各インタビュー参加者が実行するそれらのサービスと製品を可能にするプロセスは、標準ではありません。インタビュー参加者が特定の機能を実行しない場合には、その参加者は本報告に示されている関連する影響統計には含まれていません。さらに、FinTechは、標準的な決済の役割に適合しないことが多い独自の機能セットを実行します。FinTechのインタビュー参加者は、どの質問セットが最も適切であるかという視点に基づいて、発行または取得の回答セクションに分類されています。

## クライアントインタビュー参加者

インタビューに参加した一人一人は、組織全体におけるさまざまな役割の代表者です。インタビューには、通常、カード番号体系プロジェクトリードおよび処理システムの特定分野の専門家が含まれました。多くの場合、カード発行金融機関の製品管理や不正利用管理など、影響を受ける特定の機能領域からの代表者も参加しました。

参加者一人一人が共有した視点は、組織内での役割とクライアントのカード番号体系プログラムに基づいて異なっていました。組織全体を見ることで、さまざまな影響領域に関する幅広い洞察が得られました。

## サードパーティ

当社が期待していたことは、インタビューの各参加者が**内部組織および特定の機能を実行するために関与するサードパーティ**に代わって、質問に回答することでした。たとえば、カード発行金融機関には、車内で処理を行う機関もあれば、サードパーティのプロセッサに依存している機関もあります。ある参加者はプロセッサをインタビューに含めましたが、カード番号体系に関してまだサードパーティと関与していない参加者は、話し合いと確認が保留になっていると回答することがありました。インタビュー参加者のほとんどは、影響評価と計画の一環としてサードパーティを関与させることは計画していました。



**「インタビューでは、影響の包括的なビューを確保するために、評価および計画フェーズにサードパーティを含めることが重要である点が強調されました」**

– デロイトの、グローバルカード番号体系インタビューチーム

# 主な用語

どのインタビューでも、明確に用語を整合させることは重要なテーマでした。インタビュープロセスの開始時に、クライアントとサードパーティが、Visa、Visaクライアント、クライアントのそれぞれのクライアントとベンダー間での取引処理やその他の取引で使用されるさまざまな数値を指すために、さまざまな用語を適用していることを、Visaは認識していました。たとえば、「BIN」という用語は、正式には発行BINと取得識別子として知られているものを含めて、10以上の異なる数値を意味して使用されていました。

この非標準的な用語の使用は、非公式のコミュニケーションだけではなく、特定のシステムデータフィールドを介しても使用されていました。あるクライアントがデータフィールドの数値位置を介してBINを参照していると共有してくれた一例もありました。別のクライアントは、ベンダーから提供されたさまざまなソリューションが発行BINに対して異なる用語を使用していると述べました。

## インタビューで話し合われた機能領域



### 全インタビュー

#### カード番号体系プログラム管理

プロジェクトの立ち上げ、内部の利害関係者の関与、サードパーティの関与、コミュニケーション

#### 取引の処理

取引処理ライフサイクル、BINテーブル

#### 不正利用管理

不正利用検知ツール、監視とアラート、不正利用解決、報告

#### データウェアハウジング

データウェアハウスの発行BINストレージ、財務報告、サードパーティの報告、検索

#### PCIデータセキュリティスタンダード

PCI DSSコンプライアンスアプローチ



### 加盟店契約会社 および加盟店契約会社 プロセッサ

#### ATM

ATM取引処理（オーソリゼーション、清算、決済）、BINテーブル、「米国における」取引識別、ATM端末サポート

#### 加盟店販売時点情報管理 (POS)

POS端末ロジック、領収書要件、加盟店クレジット返品

#### 加盟店サービスおよび 異議申し立て

加盟店セルフサービスポータルサイト、報告、異議申し立て管理



### カード発行金融機関 およびカード発行金融 機関プロセッサ

#### 発行製品管理

BIN管理、PAN割り当てロジック、製品レポート、カード再発行、ロイヤリティ、福利厚生および特典プログラム

#### カード会員サービス

カード会員サービス、異議申し立て管理、決済、カードフルフィルメント

# 今後

すべてのVisaクライアントは、組織全体、自社のクライアントおよびベンダー全体に対する影響の分析を実施する必要があります。インタビューでは特定されなかった影響が明らかになることを期待しています。

一貫したテーマと影響領域がいくつか浮き彫りになりましたが、インタビューごとに大きな相違もありました。特定の機能領域での影響について話し合うために、インタビュー1つに長い時間を費やしました。そして、インタビューした次のクライアントに対してのみその領域で特定された影響がないことを確認しました。さらに、インタビュー参加者によって特定された影響は検証されませんでした。

量的データを共有して、カード番号体系への取り組みの開始点と、特定された影響に関する追加のチェックを提供します。

これらの結果が、以下に役立つことを願っています。

- さらなる追加とカスタマイズが必要になる各クライアントの評価の開始点を提供します。
- すでにカード番号体系プログラムを開始しているクライアントに、潜在的な影響領域に関して追加の視点を提供します。
- クライアントの組織、そのクライアントおよびベンダー全体で、この評価を広く実施することの重要性を強調します。

# インタビューの詳細結果



## カード番号体系プログラム管理

### プロジェクトの立ち上げ

全体的に、大部分のインタビュー参加者はカード番号体系への準備イニシアチブを開始し、プロジェクトマネージャーを割り当てていました。イニシアチブの構成はクライアントによって異なっていました。大規模なインタビュー参加者は並行して複数のプロジェクトを持っており、各プロジェクトは特定の地理的領域、事業部門、または処理システムに焦点を合わせていました。他の参加者は、尽力を単一のグローバルプログラムに統合しているか、または個々のプロジェクト全体に及ぶ包括的なガバナンス構造を立ち上げていました。集中型ガバナンスが導入され、それによって影響の調査結果を共有することができ、特にグローバルなクライアントとベンダーに焦点を当てて、サードパーティのアウトリーチに対する共通のアプローチに合わせることができました。

**「当社のカード番号体系プログラムは、地域のリードに報告する処理プラットフォーム[ワークストリーム]によって編成され、地域のリードはグローバル部門に報告して、共通のアプローチを可能にし、検討事項や質問のためのフォーラムとして機能します」- 加盟店契約会社プロセッサ**

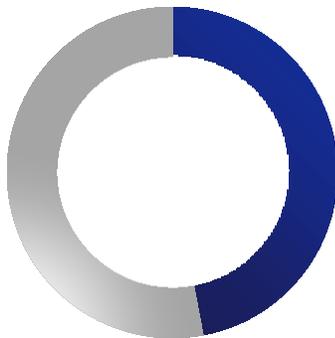
## 社内エンゲージメント

クライアントプロジェクトマネージャーは、コア処理システムをサポートするテクノロジーチームや製品チーム(カード発行金融機関および加盟店契約会社向け)など、複数の内部チームと関わっています。インタビューの参加者は、他の幅広い変革の取り組み(例:規制要件、M&A統合)からの学びを活用して、組織内での幅広いアウトリーチが必要であることを示しました。

## サードパーティエンゲージメント

インタビュー参加者の35%は、クライアントやサードパーティベンダーと話し合いを持ったと述べましたが、アウトリーチは一時的で高レベルでした。インタビューの参加者が他のサードパーティに取り組みを推進することを頼っており、多くの場合サードパーティの方からアウトリーチを開始するのを待っていたことが、多く観察されたことの1つでした。たとえば、カード発行金融機関からは、必要な変更やタイムライン、またはテストの準備について、プロセッサーから最小限の連絡しか受けていないことが共有されました。同様に、プロセッサーからは、ダウンストリームへの影響についての分析を開始するのに、サポートしているカード発行金融機関から予定されているBIN戦略の変更について共有してもらおうのを待っていたという意見が聞かれました。一部のクライアントは、国や地域の業界グループや規制当局と協力する必要性を強調しましたが、ほとんどのクライアントはまだそのアウトリーチを開始していませんでした。

### サードパーティエンゲージメント



インタビュー参加者の**47%**が、サードパーティアウトリーチを開始していた

**53%**がサードパーティアウトリーチを開始していなかった

「実施したインタビューで、影響評価におけるサードパーティの関与の重要性が浮き彫りになりました」  
– デロイトの、グローバルカード番号体系インタビューチーム

## 複数部門に及ぶ影響

新しい処理プラットフォームに移行するためのイニシアチブを開始し、これらのイニシアチブの一部として8桁のBIN要件を含めることを計画していたインタビュー参加者が2人いました。より広い意味では、カード番号体系固有の要件をすべてのテクノロジーチーム(コア処理システムやその他のアプリケーションをサポートする)と共有して、進行中または計画中のプロジェクトとの影響、依存性、または矛盾を評価する必要があります。

# 取引の処理



## 一般的なガイダンス

### VisaNet処理

発行BINはVisaNetの処理では使用されません。発行識別子は、Visaシステムにおける発行を定義するために使われます。

### 利用可能なVisaテーブル

Visa取引の適切なルーティングのために、加盟店契約会社は、Visaが提供するネットワーク固有のルーティングテーブル(例: Visa Plus、インテリリンク)を使用する必要があります。正しくないテーブルや古いテーブルを使うと、照合確認コストが高くなるだけでなく、取引が不必要に拒否されたり、誤ってルーティングされる可能性があります。

Visa取引の適切な清算のため、Visaを介して全取引を自動的にルーティングしていない加盟店契約会社は、Visaが提供するアカウント範囲定義 (ARDEF) テーブルを使用して、製品属性などの取引データを入力する必要があります。加盟店契約会社がVisa ARDEFテーブルを使用しない場合は、予想どおりに取引が清算されない可能性があります。

## 加盟店契約会社への影響

取引のルーティングにPANの最初の6桁を使用する加盟店契約会社は、取引の処理全般で広範な影響があると特定しました。さらに、一部の加盟店契約会社は現在、内部のテーブルおよび／またはサードパーティから受け取った6桁のBINに制限されたテーブルを使用しています。これらの加盟店契約会社は、8桁のBINに対応するために、ルーティングロジック、処理ロジック、および／または該当するテーブルを更新しなければならないと述べました。

インタビューで浮き彫りになった発行BINの使用法の1つには、以下のようなさまざまな製品タイプを識別することがあります。

- デビット、クレジット、プリペイドカード
- コマーシャルカード
- フリート／ガソリンカード
- パーチェシングカード(Pカード)
- 福利厚生カード(例: フレックス支出口座)
- キャッシュバックカード
- 分割払い
- ヨーロッパのみ: 強力な顧客本人認証(SCA)の免除、サーチャージ
- 米国のみ: 米国一般調達局(GSA)カード

取引処理における発行BINの使用法には、取引オーソリゼーションのリスク規則におけるデータ要素として使用することが報告されています。例には以下が含まれます:

- 特定の不正利用パラメーター(発行BINを含む)に対する取引の事前検証
- OFAC制裁などのオーソリゼーション処理のための、特定のBINのブロック
- BINレベルでの不正な取引アクティビティに関する報告と分析
- 詳細は不正利用セクションを参照してください

## カード発行金融機関への影響

半数近くのカード発行金融機関／カード発行金融機関プロセッサが、取引処理に対する影響を報告しました。一部のカード発行金融機関は処理全体で発行BINを広範囲に使用している一方、共有された影響のほとんどは個々のユースケースでした。たとえば、カード発行金融機関プロセッサには、発行BINと取得BINが混在する単一のBINテーブルがあります（これらは取得される識別子の名前が変更され、6桁のままになります）。このカード発行金融機関は、8桁の発行BINへの変更をサポートするために、発行BINを取得する識別子から分離する必要性を強調しました。

発行BINをプロセッシングで使用する例:

- 発行されたBINをプロダクトの代替として使用する
- 発行BINに基づいて認証パラメーターを設定する(例えば取引番号、日次の利用限度額)
- 発行BINをビジネスプロセスルール(プロダクトまたはサービスの対象など)に組み込む



### 影響の注目点

カード発行金融機関の中には、発行BINをダウンストリームシステムと処理(支店のシステム、オンラインバンキング、モバイル申請、電子財布、新たな口座の取得など)で使用するカード発行金融機関がある。

取引処理の影響を特定しなかったインタビュー参加者は、発行BINの数が少なく、比較的小規模であったか、または製品を特定するために異なる数値(例:9桁のアカウント範囲、または最初の8桁)を使用した。カード発行金融機関プロセッサの場合、クライアント(カード発行金融機関)に対して、取引処理ライフサイクル全体で使用されるのに異なる識別子を割り当てているプロセッサもいた。

## インタビューの回答:取引の処理のBIN使用

ルーティングおよび  
オーソリゼーション



清算および決済



会計および照合確認

### 🏠 カード発行金融機関／カード発行金融機

- 製品タイプを特定
- 製品またはサービスの対象を決定
- オーソリゼーションパラメーターを設定



- 清算および決済システムテーブルの検索
- 清算および決済報告の作成



- ダウンストリームの照合確認を実行
- 会計処理をサポート

### 🏠 加盟店契約会社／加盟店契約会社プロ

- ローカルおよび国際的な取引を特定
- 「米国における」処理を検出
- リスクルールを設定
- 検証前の不正利用チェックを実行



- 加盟店の清算、決済、ポストティングの加盟店割引料を特定



- インターチェンジをポストする取引を特定
- インターチェンジ フィーを計算

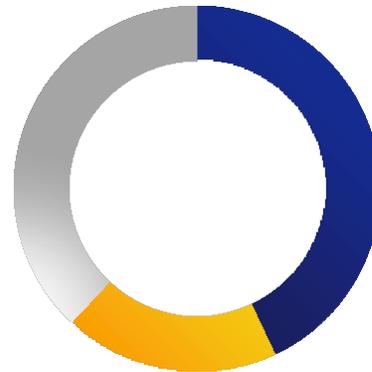
# ATM

## 取引の処理

インタビューに参加したATMをサポートしているクライアントの43%が、ATM取引処理への影響を特定しました。これらの影響は、たとえば、異なる処理システムの使用により、POSで特定された影響とは異なることがしばしばあります。以下は、ATM取引処理およびATM端末での発行BINの使用例です。

- カードのブランド／ネットワークを判断するための、発行BINの検索
- 国内または海外取引を特定
- ATM取引のルーティング
- 請求のサポート
- さまざまなレポート機能を開発

### ATM処理の影響



インタビューを受けた  
**43%**のATM加盟店契約会社が影響を特定

**19%**が分析実施中

**38%**が影響の特定をしていない

## ATM BINテーブル

インタビュー参加者は、ATM取引処理のための発行BINテーブルのソースと使用は、販売時点情報管理処理と似ていると述べました。発行BINテーブルとハードコードされた発行BINのロジックが6桁のBINに制限されているユースケースでは、2022年4月までに8桁に拡張しなければなりません。

あるカード発行金融機関は、「サーチャージなし」取引を識別するために使用する金融機関のテーブル「FIT」に対して、次の影響を特定しました。このテーブルは、ATM所有者（またはカード発行金融機関）ごとに1,000記録に制限されています。カード発行金融機関が8桁の発行BINに移行する際、10以上の6桁のBINを持つ単一のカード発行金融機関が6桁から8桁に変換する時に1,000を超える発行BINを持つ可能性があります。したがって、この状況に対応するためにはテーブルを拡張する必要があります。さらに、そのテーブルで更新されるBINの数が増えるため、手動でアドホックなプロセスを確立する必要が少なくなる場合があります。

**「発行BINに基づいて請求料金とカード会員に表示される画面を管理するために、ATMを変更する必要があります」- ATM加盟店契約会社**



### 影響の注目点 - 「アメリカにおける」取引

ATMをサポートしているインタビュー参加者のうち、半数が発行BINを使い「米国における」取引を識別しています。ATM加盟店契約会社は、独自のATM用にデビットBINをハードコードするか、「米国における」BINのリストをATMにアップロードします。これらの発行BINは、「米国における」ユーザー、「米国にはない」ユーザーおよび外国のユーザーに表示されるATM取引オプション、および特定の料金体系または無料サービスを識別するために使用されます。

# 発行製品管理

カード発行金融機関のインタビュー参加者の50%以上が、発行BIN、7桁目または8桁目が製品の識別に使用される時、BINおよびPAN割り当て戦略への影響を特定しました。BINおよびPANの割り当て戦略はポートフォリオによって異なるため、インタビュー参加者は製品ポートフォリオすべてにわたって評価を実施する計画があることを強調しました。さらに、参加者は、製品管理システム、製品パフォーマンス報告、アカウント割り当てランダム化プロセスおよびロイヤリティと特典の対象への影響を特定しました。



## 一般的なガイダンス

### スマートBIN管理

新しい8桁のBIN標準へのスムーズな移行を進めるために、Visaはカード発行金融機関に対して既存のスマートBIN管理ポリシーをリマインドします。

- 新しいBIN割り当てを要求する前に、既存のBINで使用可能な範囲を利用する
- カード発行をサポートするのに必要な範囲のみをインストールする
- BIN全体でカードをランダムに発行しない。ランダム化を使用する場合は、10桁目から始めるべきである
- トークンを導入し、リスクを軽減するために、未使用のアカウント範囲をアンインストールする

Visaは、新製品のイノベーションをサポートするために十分なBINを供給できるよう、これらのポリシーを確立しました。さらに、これらの使用ポリシーに従うことによって、多数の6桁のBINが一挙に8桁へ変換される際、8桁標準の実装がクライアントの事業に与える混乱は少なくて済みます。

www.VisaOnline.comのカード番号体系イニシアチブのページにある、Visa Business Newsの2019年7月18日号に掲載されたReinforcing the Importance of Smart BIN Management Policies(スマートBIN管理ポリシーの重要性を強化)をお読みください。または、Visa Business Schoolにて無料で提供しているスマートBIN管理コースをご利用ください。

## 今後のアプローチ

カード発行金融機関は、6桁のBINから8桁のBINへ変換するためのさまざまなアプローチを採用しています。6桁のBINポートフォリオ全体を8桁のBINに変換し、未使用の8桁のBINをVisaに返却する予定にしているカード発行金融機関もあります。また他のカード発行金融機関はポートフォリオによるハイブリッドアプローチを計画しており、6桁のBINをいくつか保持する一方で、他の6桁のBINを8桁のBINに変換する予定です。どのクライアントも、カード会員に影響を与えないことの重要性を理解しており、BINクリーンアップの取り組みの一環としてカードの再発行を検討しているインタビュー参加者は1人だけでした。

## ロイヤリティ、福利厚生および特典プログラム

ロイヤリティ、福利厚生、または特典プログラムを提供またはサポートするクライアントの3分の1は、発行BINを使用してプログラムの対象を確認する時の影響を特定しています。影響を受けないクライアントは、製品コードまたは対象を決定するための別の識別子を使います。

# カード会員サービス

## コールセンター

カード発行金融機関のインタビュー参加者の30%以上が、コールセンターのケースルーティングと対話型音声応答(IVR)ソリューションへの影響を特定しました。影響を受ける参加者は、発行BINまたはPANの7桁目か8桁目に基づいてコールをルーティングしており、システム設定、BIN参照テーブルおよびIVRメニューに変更を加える予定です。影響を特定しなかったクライアントは、異なる製品または異なるクライアント(例:スタンドアロンプロセッサの場合)に異なる電話番号を使用しているため、ルーティングケースではないか、またはルーティングが他の識別子に基づいています(例:完全なPAN、9桁のアカウント範囲、内部識別子)。

「カード発行金融機関には、負荷標準化のため、または地域によって7桁目または8桁目をコールのルーティングに使っており、中にはハードコードされたロジックを持っている機関もあります」

– カード発行金融機関プロセッサ

## カード会員明細書

インタビュー参加者の59%はカード会員の明細書への影響を予期していませんでしたが、一方では、発行BINが社内、プロセッサ、または印刷ベンダーによって印刷処理に使用されるかどうか、および／または発行BINが明細書に印刷されるかどうかを評価中の参加者もいました。

## 決済

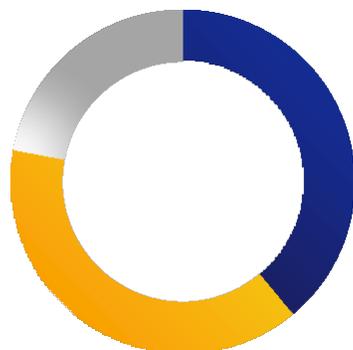
決済プロセスをすでに評価したインタビュー参加者からは、影響は特定されませんでした。

## 異議申し立て管理

ほとんどのインタビュー参加者は、完全なPANをプライマリ識別子として使用しているため、異議申し立て管理ツールと処理への影響を特定しませんでした。影響を特定したインタビュー参加者は、発行BINをたとえば以下に使用しています。

- クライアントを特定の取引に関連付ける
- 設定テーブルにおいて
- クライアントによるVisa Resolve Online異議申し立てレポート機能を分離する

### カード会員サービスへの影響



カード発行金融機関／カード発行金融機関プロセッサのインタビュー参加者の**37%**が影響を特定

**37%**が分析実施中

**26%**が影響の特定をしていない

## カードのフルフィルメント

インタビュー参加者の半数以上が、カードフルフィルメントプロセスへの影響を特定しました。カードフルフィルメントにおける発行BINの使用の例には以下があります。

- 発行BINに基づいたプロフィール
- 別個のデータ要素として含まれている発行BINのあるカード注文ファイル
- パーソナライズプロセス(暗号化キー、認証など)
- 発行BINを含むカードメーラー

すべてのカード発行金融機関およびカード発行金融機関プロセッサは、カードフルフィルメントベンダーと影響に関する詳細な話し合いを行う必要があることを特定しました。



### 一般的なガイダンス

#### カード発行金融機関パブリックキー (IPK) 証明書

6桁レベルで要求されたIPK証明書は、カード発行金融機関が8桁のBINに移行した場合でも引き続き有効であり、カード発行金融機関は有効期限までこれらの証明書を引き続き使用できます。カード発行金融機関が8桁のBINに移行する時、Visaは、証明書の有効期限が切れるまで、6桁の範囲内にある未使用の8桁のBINを割り当てません。一部のカード発行金融機関は、8桁のBINに移行する前に6桁のレベルで証明書を要求することを選択して、何年にもわたってBINを効率的に使用する計画をより柔軟に行えるようにすることができます。



# 加盟店販売時点情報管理

取得インタビュー参加者の**69%**が、POSハードウェア、端末ソフトウェアおよびBINテーブルへの影響を含む、加盟店販売時点情報管理処理への影響を特定しました。

インタビュー参加者の**46%**が、発行BINに基づいてハードコードされたロジックのあるPOS端末を特定しました。ただし、参加者が影響を受けると予想している端末の数は、全端末のほんの一部であることを意味します。POS端末ソフトウェアを更新する必要があるだろうと述べた参加者は3人いました。1人の参加者は、発行BINを保存している端末が更新できない場合は交換が必要になる可能性があるとして述べました。

「[私たちは]複数のサードパーティのPOS端末プロバイダーを使って加盟店のハードウェアとソフトウェアを管理しています。加盟店がPOSソフトウェアをアップグレードしなければならないだろうと想定しています」

- 加盟店契約会社

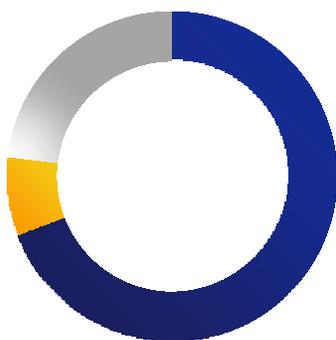
**58%**が、端末にロードしたBINテーブルへの影響、または端末管理システムを介して参照されたBINテーブルへの影響を予想しています。POSにおける発行BINの参照のための厳選ユースケースには以下が含まれます。

- 加盟店選択ルーティング
- 加盟店ロイヤリティ/「米国における」取引を実行するカード会員に提供される特別割引プログラム
- 磁気ストライプ取引向けデュアルブランドBINリスト
- 磁気ストライプ取引向けPINバイパス対象

さらに、一部の加盟店契約会社は、一部の加盟店にBINテーブルを提供します。インタビュー参加者は、サードパーティへのアウトリーチの一環として、加盟店のユースケースと潜在的な影響について話し合うことを計画しています。

インタビュー参加者は、領収書やクレジット返品処理への影響は特定しませんでした。

## 加盟店販売時点情報管理への影響



加盟店契約会社/加盟店契約会社プロセッサのインタビュー参加者の**69%**が影響を特定

**8%**が分析実施中

**23%**が影響の特定をしていない



### 一般的なガイダンス

#### 動的通貨換算(DCC)

DCCは、発行識別子によって有効化されるため、発行BIN拡張の影響を受けません。クライアントは、カスタムソリューションを実装した場合は、さらなる分析を行う必要があります。

# 加盟店サービスおよび異議申し立て

## 加盟店セルフサービスポータルサイト

セルフサービスポータルサイトへのアクセスを加盟店に提供する大部分のインタビュー参加者は、次の領域での潜在的な影響を分析中です。

- 検索機能：
  - 発行BINまたは最初の6桁／最後の4桁の検索が実行されます。検索を最初の8桁に拡張する運営上の必要性があるかどうかを判断するには、さらなる分析と加盟店との話し合いが必要になります
  - アカウントプレフィックス検索が実行されます。文字数に制限があるかどうかを判断するために分析が必要です
- 取引画面：マスクされたPAN(最初の6桁／最後の4桁)を含む決済方法が表示されます。8桁の発行BINを表示する運営上の必要性があるかどうかを判断するには、分析が必要です。

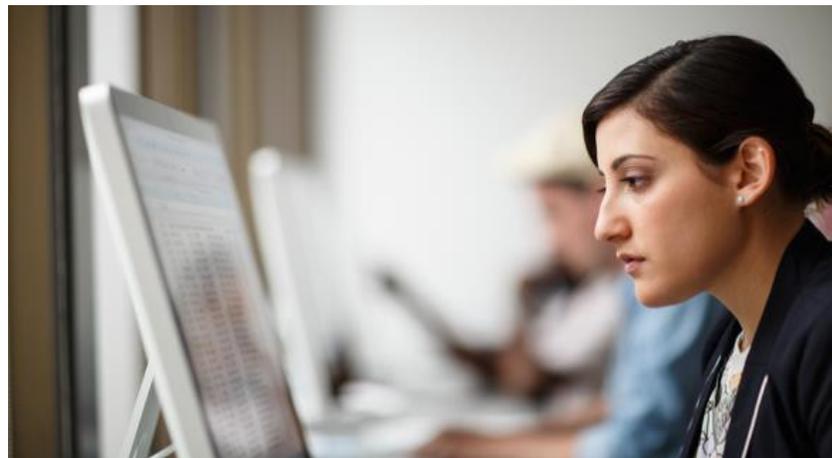
**「[私たちは]加盟店が最初の6桁をどのように使用しているか、そして8桁に拡張する必要があるかどうかビジネス上の論理的根拠を理解する必要があります」** – 加盟店契約会社プロセッサー

インタビュー参加者は、加盟店のレポート機能が影響を受けるかどうか、またどのように影響を受けるかを判断するには、さらなる分析が必要であると述べました。インタビューで、BINまたはマスクされたPANの発行は、ダウンロードに送信される報告に含まれること、またはポータルサイトからダウンロードできることを述べた参加者も何人かいました。

## 異議申し立て管理

加盟店契約会社の30%が、異議申し立て管理プロセスに影響があると特定しました。発行BIN使用の例には以下があります。

- 設定テーブル
- 検索機能
- レポート機能
- 照合確認
- 異議申し立ての解決のためのカード発行金融機関識別



# 不正利用管理

全体的に、発行と取得全体に及ぶインタビュー参加者の63%は、不正利用規則、報告およびサポートシステムへの影響を特定しました。

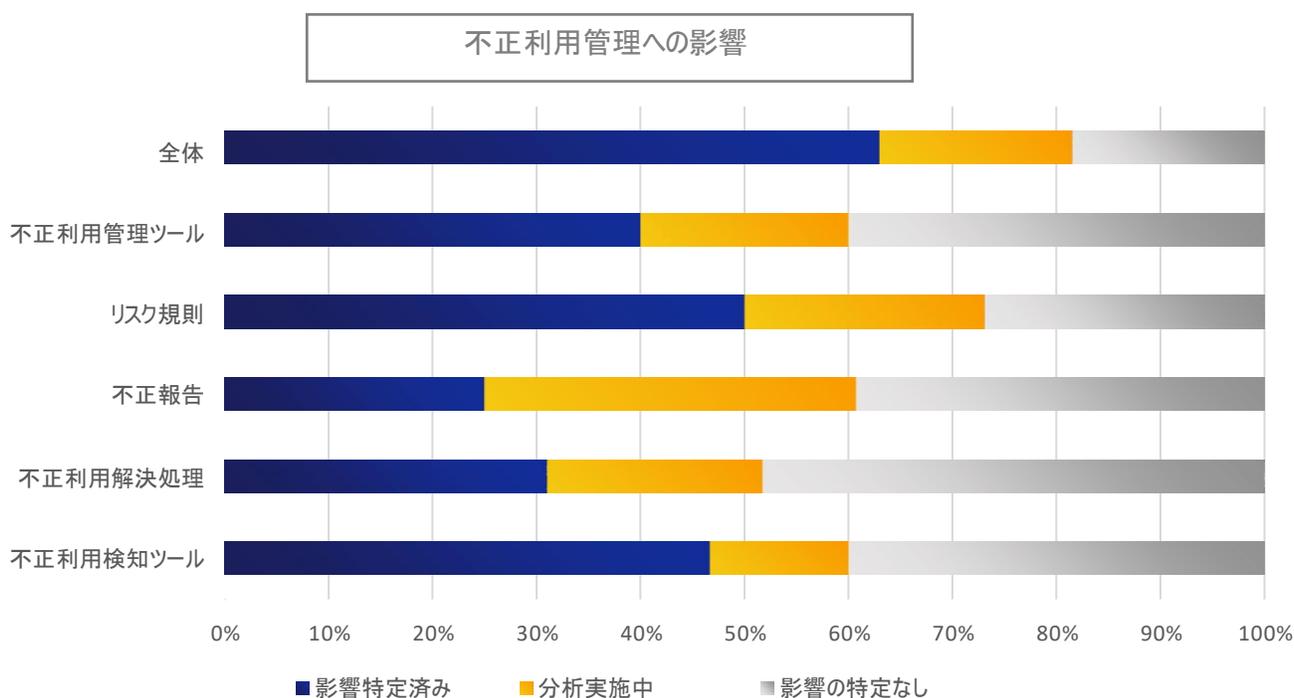
「一部の[不正利用]規則は6桁のBINを利用しているため、更新する必要があります。当社のアプリケーションチームが影響を評価しています」-カード発行金融機関プロセッサ

インタビュー参加者は、発行BINに基づいて、不正利用監視アクティビティやアラートへの影響を特定しました。それには、取得サイドにおけるBINブロッキング、発行サイドにおける製品プロキシ(デビット、プリペイド、クレジットなど)があります。一部の加盟店契約会社に対して、加盟店は、他の要素との組み合わせに発行BINを含んでいるカスタムの規則を定義します(加盟店契約会社のプラットフォームにて)。

不正利用規則の一部として発行BINを使用するインタビュー参加者は、マイナーな設定更新からより広範なシステムの変更に至るまで、さまざまなレベルの影響を特定しました。

不正利用報告も影響領域として特定されました。インタビュー参加者の25%は発行BINが報告に使われていることを確認しました。追加の36%はまだ影響を分析しているところです。レポート機能への影響の一例は、発行BINによる概要不正利用統計のセグメンテーションです。

不正利用機能への影響を特定しなかったインタビュー参加者は、不正利用処理で発行BINを使用しないか、または6桁に制限されていないシステムを使用します。たとえば、あるカード発行金融機関は、アラートは自社がプログラムレベルとして分類したもの(つまり、9桁のアカウント範囲)に基づいていると述べました。



# データウェアハウジング

## 発行BINストレージ

インタビュー参加者の半数以上が、発行BINをコア処理システムの外部のデータ要素として保存しています。たとえば、インタビューに参加した加盟店契約会社と加盟店契約会社プロセッサは、加盟店プリプロセッサ、端末処理プラットフォーム、対話型音声応答 (IVR) アプリケーションおよび加盟店サービスポータルサイトのデータテーブル内で発行BIN を保存しています。カード発行金融機関とカード発行金融機関プロセッサは、データテーブル内に発行BINを保存します。保存先には、BINテーブルを使用して情報を他のアプリケーションにルーティングするパススルーアプリケーション、カードアプリケーションをサポートするために発行BINを参照する取得チャネルアプリケーション、およびACS 3Dセキュアポータルサイトがあります。

発行BINを個別の要素として保存しないインタビュー参加者は、必要に応じてPANの一部として、または他のデータ要素 (例: BIN範囲テーブル、トークン/プロキシPAN) から発行BINを参照します。

## 発行BIN検索

インタビュー参加者の60%以上が、発行BINにより検索を実行し、そして検索機能を8桁に拡張するための将来の要件のサブセットが特定されました。

## レポート機能

発行BINによるレポート機能は、加盟店契約会社とカード発行金融機関全体で大きく異なっています。インタビューに参加したほとんどの加盟店契約会社は、財務またはサードパーティ報告で発行BINを使っていません。しかし、一部の加盟店契約会社は、発行BINを含むデータと報告を加盟店へ提供しています。大部分のカード発行金融機関は、報告全体に影響が及ぶことを予想し、全標準およびカスタマイズされた内部とサードパーティのレポート機能全体のインベントリと分析の必要性を特定しました。例としては、インタビューしたカード発行金融機関の47%は、財務管理報告に発行BINを使用しており、サブセットには総勘定元帳のデータ要素としてBINが含まれていることがあります。



### 一般的なガイダンス

6桁のBINに対して8桁のBINを識別する

発行BINが6桁であるか8桁であるかを識別するために使用できるリソースがVisaには2つあります。

クライアントディレクトリー: Visa Onlineのクライアントディレクトリーは、クライアント間のコミュニケーションを容易にし、取引コピー要求の処理、チャージバックと異議申し立て、不正利用管理などのバックオフィス操作をサポートします。データファイルでは、6桁のBINフィールドは変わることはなく、8桁のBINの新しいフィールドが追加されます。

Visa BIN属性共有サービス (VBASS): VBASSは、Visa BIN属性の共有を可能にして、許可されたユースケース内で加盟店処理とチェックアウトエクスペリエンスを改善できるオプションのサービスです。このサービスは、BIN属性データを取得するために2つの方法を提供します。Visaからの直接のアクセス、そして加盟店契約会社または加盟店契約会社がスポンサーになっているサードパーティを通じた間接のアクセスです。詳細は、Visa.comのVBASSサイトをご覧ください。



## PCI DSS留意事項

PCI DSSコンプライアンスの一方法として切り捨てを使用するインタビュー参加者は、PANの「最初の6桁と最後の4桁」を保管します。ただし、インタビューにおいて大部分のクライアントは、「最初の6桁」が特に発行BINとして参照されていない限り影響があるとは予想していません。

**カード発行金融機関への影響の例:** 6桁目または7桁目に基づいて製品識別を行うカード発行金融機関は、製品を再分類するか、別の製品識別アプローチを定義する必要があります。

**加盟店契約会社への影響の例:** 加盟店はオーソリゼーション報告を受け取り、「最初の6桁」を使用して取引またはチャージバックの調査を行い、カード発行金融機関を特定します。



### 一般的なガイダンス

#### PCI DSSへの8桁の発行BINの影響

PCIとVisaの両者は、BINの長さの拡張が現在の標準に与える影響を評価しました。

画面および報告に提示されるデータ: すでにPCI DSS内にある規定により、正当なビジネスニーズを持つユーザーはPANの数字の一部またはすべてを見ることができます。Visaは、BINの長さの拡張に対応するために変更が必要になるとは予想していません。

保存データ: 8桁のBINへの拡張を評価した後、ペイメントカード業界は、保存データを保護するために、少なくとも6桁を切り捨てるか暗号化するべきだと主張しています。保存データを保護するためのPCI要件に準拠する唯一の方法として切り捨てを使用し、8桁のBIN全体と最後の4桁を公開したいクライアントは、暗号化、ハッシュ化、トークン化など、データ保護のために許される方法を1つ以上追加する必要があります。

# アクションプラン

本報告に示されているように、決済エコシステムの役割によってそれぞれ影響は大きく異なります。それぞれのVisaクライアントは、システムとプロセスを含む組織全体にわたって影響評価を実施する必要があります。発行BINの使用と影響を受ける数値について包括的なビューを提供するために、ベンダーが評価に関与することが重要です。さらに、クライアントへの強固なアウトリーチとコミュニケーションのアプローチにより、関連するすべての利害関係者が変更の通知を受け、潜在的な影響領域について独自の評価を行うことが確保されます。

これらの評価は、さらに詳細な解決策が必要な領域を含む次のステップを決めます。

- 貴社でのカード番号体系計画をサポートするために、カード番号体系の情報を貴社で共有してください。
- このアンケートを開始点として、または影響評価への追加の意見としてお使いください。
- 追加のリソースは、[VisaOnline.com](https://www.visaonline.com)でアクセスできます。

# 付録

## リソース

Visaは8桁の発行BINへの移行に関して、クライアントと定期的にコミュニケーションを継続しています。以下のチャンネルで、最新情報をご確認ください。



### Visa Online (VOL) カード番号体系ページ

このページは、Visaのカード番号体系イニシアチブに関連する新しい文書とリソースによって、定期的に更新されます。こちらには、よく寄せられる質問、短期的な保全戦略に関連する情報、8桁の発行BINへの移行などがあります。



### ツール、トレーニングおよび報告

スマートBIN管理のトレーニングへのリンクは、[www.VisaOnline.com](http://www.VisaOnline.com)のカード番号体系イニシアチブのページをご覧ください。貴社の現在のBIN使用についての報告を受け取るには、貴社のVisa担当者へリクエストを送信するか、[NumericsSupport@Visa.com](mailto:NumericsSupport@Visa.com)に直接リクエストをお送りください。Visaはカード番号体系イニシアチブをサポートするために新しいツール、トレーニング、報告を開発し続けています。今後の発表を引き続きご覧ください。



### グローバルテクニカルレターおよび実装ガイド(GTLIG)

2022年4月の施行日まで、Visaは年2回発行のGTLIGで、必要に応じて記事を公開します。特定の必須要件について詳しく説明する記事は、グローバルまたは関連する地域のセクションに表示されます。



### Visa Business Newsガイド(VBN)

Visaは、カード番号体系イニシアチブに関連する新しいリソースと開発をクライアントに認識していただくために、VBN記事を公開します。カード番号体系に関する最新情報については、VBNの各号を詳しくレビューしてください。Visa Business News記事は、[www.VisaOnline.com](http://www.VisaOnline.com)のカード番号体系イニシアチブのページに記載されます。



### NumericsSupport@visa.com

[NumericsSupport@visa.com](mailto:NumericsSupport@visa.com)のメールボックスは、Visaのカード番号体系の特定分野の専門家によってモニターされ、クライアントにご利用いただけます。ご質問はこちらのメールボックスにお送りください。また、アカウント範囲使用報告(VTS加入準備中のクライアントの場合)のリクエストや8桁BIN報告のリクエストもできます。報告のリクエストには、クライアントは割り当てられたBIDを提供する必要があります。BIN使用率報告はまた、発行BINによってリクエストすることも可能です。

# 加盟店契約会社／加盟店契約会社プロセッサアンケート

以下は、影響の評価と潜在的な影響領域の特定をサポートするために使用できる代表的な一連の質問です。これらの質問は、ある組織におけるすべての潜在的な数値の影響を包括的に確認するものではありません。各クライアントは、必要な変更に対処するための計画を立てる際、組織全体、自社のクライアントおよびベンダー全体で包括的な評価を実行する必要があります。

機能領域	アンケート
カード番号体系 プログラム管理	<p>プログラム管理</p> <ul style="list-style-type: none"><li>カード番号体系プログラムの正式な構造は確立されていますか？同プログラムにはエグゼクティブスポンサーシップがありますか？ 予算承認はありますか？</li><li>テクノロジー、基幹業務および機能領域（例：財務、リスクなど）全体の利害関係者を特定するために、広範な内部アウトリーチが実施されましたか？</li><li>エンドツーエンドのテスト（サードパーティを含む）のアプローチはどのようなものですか？ トレーニングは？</li><li>複数の地域で事業を行っているクライアントの場合、プログラムの構造とアプローチは地域の違いを反映していますか？</li></ul> <p>カード番号体系への認識</p> <ul style="list-style-type: none"><li>内部の利害関係者はすべて、新しいBIN標準と準備のタイムラインを認識していますか？</li><li>発行BINは、システム、処理文書化、その他の事業の使用法など、組織全体において他の規約で言及されていますか？</li></ul> <p>サードパーティコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"><li>サードパーティ（プロセッサ、ベンダー、クライアント）と連携して、システム、処理およびデータに対するカード番号体系の影響を理解するためのアプローチはどのようなものですか？</li><li>すべてのクライアントに対するコミュニケーション計画はどのようなものですか？</li><li>カード番号体系の変更に対してクライアントの準備度を理解するために、どのようなアプローチを取りますか？</li><li>カード番号体系の変更に対してベンダーの準備度を理解する（および必要に応じて検証する）ために、どのようなアプローチがありますか？</li></ul>

機能領域	アンケート
取引の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発行BINは、取引処理のライフサイクル(オーソリゼーション、清算、決済、取引アカウントリング、照合確認)全体でどのように使用されますか？</li> <li>• オーソリゼーションおよび取引リスク処理のビジネスルールには発行BINが含まれていますか？</li> <li>• 現在、取引の処理に使われているテーブルはどのようなものですか？ BINが8桁に拡張されることにより、使用するテーブルに影響はありますか？ 例： <ul style="list-style-type: none"> <li>- ルーティング：Visaが提供するネットワーク固有のルーティングテーブル(例：Visa Plus、Interlink)が使用されますか？</li> <li>- 精算 (Clearing)：Edit Packageを介してVisaが提供するアカウント範囲定義 (ARDEF) テーブルは使用されますか？</li> <li>- 独自仕様またはサードパーティ提供のBINテーブルは使用されますか？</li> </ul> </li> <li>• 発行BINは、次を特定することに使われますか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>- 限定的な取り扱い(クレジット、デビット)？</li> <li>- Visaプリペイド、パーチェシングカード(pカード)、福利厚生カード(例：FSA、フリート／ガソリンカード)その他？</li> <li>- キャッシュバック？</li> <li>- 分割払いの資格？</li> <li>- ヨーロッパのみ：サーチャージ？ 強力な顧客本人認証(SCA)の免除の決定？</li> <li>- 米国のみ：米国一般調達局(GSA)カード？</li> </ul> </li> <li>• 発行BINは、インターチェンジ照合確認またはレポート機能で使用されていますか？</li> </ul>
ATM	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発行BINはATM取引をルーティングするのに使われますか？</li> <li>• ATM取引の処理に使われているテーブルはどのようなものですか？ BINが8桁に拡張されることにより、使用するテーブルに影響はありますか？</li> <li>• 発行BINは、米国における処理を特定するのに使われますか？</li> <li>• 発行BINは、米国におけるものではない取引に関して、米国におけるサービス(例：特別な取り扱いのため)を実行するのに使われますか？</li> <li>• ATM端末サポートへの影響は特定されていますか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>- ソフトウェア配布</li> <li>- 取引レポート機能</li> <li>- 暗証番号(PIN)変更機能</li> <li>- カスタムテキストとグラフィック</li> <li>- 外国語スクリーン</li> <li>- 音声対応サポート</li> </ul> </li> </ul>

機能領域	アンケート
加盟店販売時点情報管理 (POS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• POS端末レベルのロジックは、発行BINに基づいていますか？</li> <li>• 発行BINは、POS端末において「ハードコード」されていますか？</li> <li>• BINテーブルはPOS端末にアップロードされていますか？</li> <li>• POS端末は、端末管理システムを介して一元的にホストされている発行BINテーブルを参照していますか？</li> <li>• BINテーブルは、加盟店の内部使用のために、加盟店へ送付されていますか？</li> <li>• 加盟店は、内部使用のために発行BINファイルを入手していますか？</li> <li>• 領収書の要件に影響はありますか(例:最初の6桁はカード発行金融機関を識別するために使われていますか)？</li> <li>• 加盟店のクレジット返品プロセスに影響はありますか？</li> </ul>
加盟店サービスおよび異議申し立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 加盟店のVisa優待・特典、ロイヤリティ、特典プログラム、またはその他のプロモーションの端末または処理レベルのロジックは、発行BINに基づいていますか？</li> <li>• 加盟店／共同ブランドのレベルのロイヤリティプログラムへの影響はありますか？</li> <li>• 加盟店は、加盟店契約会社が提供するセルフサービスポータルサイトを使用しますか？ その場合、BINが8桁になることによる影響はありますか？             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 検索機能: 加盟店は、発行BINによる検索ができますか？</li> <li>- 画面: 発行BINはどの画面(例: PAN の最初の6桁)にも表示されていますか？</li> <li>- レポート機能: 加盟店レポート機能に含まれている発行BINは、セルフサービスポータルサイトからダウンロードできますか？</li> <li>- 最初の8桁を表示するために、検索機能、画面、またはレポート機能を拡張する事業ニーズがありますか？</li> </ul> </li> <li>• 発行BINは、加盟店に直接送信される加盟店報告に含まれていますか？</li> <li>• 発行BINは、異議申し立て管理処理に使用されていますか？             <ul style="list-style-type: none"> <li>- カード発行金融機関の異議申し立て？</li> <li>- 加盟店が開始した異議申し立て？</li> </ul> </li> <li>• 発行BINは、異議申し立てのケースルーティングの取引を識別するために使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは、その他の加盟店サービス処理に使われていますか？</li> </ul>
不正利用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発行BINは、以下に使われていますか？             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 不正利用検知ツール(例: BINおよびアカウント範囲ベースのロジック)？</li> <li>- 不正利用監視およびアラート？</li> <li>- 不正利用解決処理？</li> <li>- 不正報告？</li> </ul> </li> </ul>

機能領域	アンケート
データ ウェアハウジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PANの最初の6桁は、個別のデータ要素として保存されていますか？</li> <li>• 発行BINはどこに保存されていますか？ アプリケーションデータテーブルは？ データウェアハウジング(財務、運営など)？</li> <li>• 発行BINによるデータ検索は実行されますか？</li> <li>• 発行BINは他の数値と組み合わせられ、BINが8桁に拡張されることで影響を受ける可能性のある個別のデータ要素を作成していますか？</li> <li>• 発行BINは、マスターデータ管理(MDM)のデータ要素として保存されていますか？ ソリューション？</li> <li>• 発行BINは、他の製品プロセッサ(例:コアバンキングシステム)に保存または使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは、財務報告または総勘定元帳のコンポーネントとして使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは、サードパーティに提供されるデータまたは報告に含まれていますか？</li> </ul>
PCI DSSおよび リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PCI DSSコンプライアンスを維持するためのデータ保護に使用される方法(例:切り捨て、暗号化、トークン化)に影響はありますか？</li> <li>• 発行BINはコンプライアンスマネジメントシステムおよびプロセスで使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは規制報告に使われますか？</li> </ul>

# カード発行金融機関／カード発行金融機関プロセッサー アンケート

以下は、影響の評価と潜在的な影響領域の特定をサポートするために使用できる代表的な一連の質問です。これらの質問は、ある組織におけるすべての潜在的な数値の影響を包括的に確認するものではありません。各クライアントは、必要な変更に対処するための計画を立てる際、組織全体、自社のクライアントおよびベンダー全体で包括的な評価を実行する必要があります。

機能領域	アンケート
カード番号体系 プログラム管理	<p>プログラム管理</p> <ul style="list-style-type: none"><li>カード番号体系プログラムの正式な構造は確立されていますか？ 同プログラムにはエグゼクティブスポンサーシップがありますか？ 予算承認はありますか？</li><li>テクノロジー、基幹業務および機能領域（例：財務、リスクなど）全体の利害関係者を特定するために、広範な内部アウトリーチが実施されましたか？</li><li>エンドツーエンドのテスト（サードパーティを含む）のアプローチはどのようなものですか？ トレーニングは？</li><li>複数の地域で事業を行っているクライアントの場合、プログラムの構造とアプローチは地域の違いを反映していますか？</li></ul> <p>カード番号体系への認識</p> <ul style="list-style-type: none"><li>内部の利害関係者はすべて、新しいBIN標準と準備のタイムラインを認識していますか？</li><li>発行BINは、システム、処理文書化、その他の事業の使用法など、組織全体において他の規約で言及されていますか？</li></ul> <p>サードパーティコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"><li>サードパーティ（プロセッサー、ベンダー、クライアント）と連携して、システム、処理およびデータに対するBINコードの影響を理解するためのアプローチはどのようなものですか？</li><li>すべてのクライアントに対するコミュニケーション計画はどのようなものですか？</li><li>カード番号体系の変更に対してクライアントの準備度を理解するために、どのようなアプローチを取りますか？</li><li>カード番号体系の変更に対してベンダーの準備度を理解する（および必要に応じて検証する）ために、どのようなアプローチがありますか？</li></ul>

機能領域	アンケート
<b>カード発行金融 機関製品管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在、BIN(6桁)とアカウント範囲(9桁)はどのように編成されていますか(例:コストセンター、法人、製品、地域)?</li> <li>• 既存および将来の製品に対する、今後のBIN管理戦略はどのようなものですか? システムや処理への関連した影響はありますか?</li> <li>• 現在のPAN割り当てロジックはどのようなものですか? カード番号体系の変更によって、PAN割り当てロジックに影響はありますか?</li> <li>• カードの再発行は、今後のBIN戦略の一環として計画されていますか? その場合、再発行の戦略はどのようなものですか(例:コンバージョン、紛失/盗難のケース、非接触への切り替え)?</li> <li>• 発行BINは、製品パフォーマンス報告に使われますか?</li> <li>• ATM製品の有効化は発行BINに基づいていますか?</li> <li>• 発行BINにより、ロイヤリティ、福利厚生および特典プログラムが特定の製品またはポートフォリオに割り当てられていますか?</li> <li>• カード会員から問い合わせがあった場合、発行BINは、ロイヤリティ、福利厚生、特典プログラムの対象を特定するために使用されますか?</li> </ul>
<b>カード会員 サービス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人アカウントサービスの場合、発行BINは、カード会員またはケースルーティングのための取引を識別するために使用されますか? <ul style="list-style-type: none"> <li>- コールセンター/IVR</li> <li>- 異議申し立て/チャージバック</li> </ul> </li> <li>• 発行BINは決済処理で使用されていますか?</li> <li>• カード会員の明細書または明細書の照合確認に影響はありますか?</li> <li>• カードフルフィルメントプロセス(例:エンボス加工、チップのパーソナライズ)に影響はありますか?</li> </ul>
<b>取引の処理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発行BINは、取引処理のライフサイクル(オーソリゼーション、清算、決済、取引アカウントリング、照合確認)全体で使用されていますか?</li> <li>• オーソリゼーションおよび取引リスク処理のビジネスルールには発行BINが含まれていますか?</li> <li>• 現在、取引の処理に使われているテーブルはどのようなものですか? BINが8桁に拡張されることにより、使用するテーブルに影響はありますか?</li> <li>• 発行BINは、デジタルウォレットソリューションに使われていますか?</li> <li>• BINが8桁に拡張されることにより、補助システム(支店、オンライン、モバイルアプリケーション、新規アカウントの取得)に変更が予想されますか?</li> </ul>

機能領域	アンケート
不正利用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発行BINは、以下に使われていますか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>- 不正利用検知ツール(例: BINおよびアカウント範囲ベースのロジック)？</li> <li>- 不正利用監視およびアラート？</li> <li>- 不正利用解決処理？</li> <li>- 不正報告？</li> </ul> </li> </ul>
データ ウェアハウジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PANの最初の6桁は、個別のデータ要素として保存されていますか？</li> <li>• 発行BINはどこに保存されていますか？ アプリケーションデータテーブルは？ データウェアハウジング(財務、運営など)？</li> <li>• 発行BINによるデータ検索は実行されますか？</li> <li>• 発行BINは他の数値と組み合わせられ、BINが8桁に拡張されることで影響を受ける可能性のある個別のデータ要素を作成していますか？</li> <li>• 発行BINは、マスターデータ管理(MDM)のデータ要素として保存されていますか？ ソリューション？</li> <li>• 発行BINは、他の製品プロセッサ(例: コアバンキングシステム)に保存または使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは、財務報告または総勘定元帳のコンポーネントとして使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは、サードパーティに提供されるデータまたは報告に含まれていますか？</li> </ul>
PCI DSSおよび リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PCI DSSコンプライアンスを維持するためのデータ保護に使用される方法(例: 切り捨て、暗号化、トークン化)に影響はありますか？</li> <li>• 発行BINはコンプライアンスマネジメントシステムおよびプロセスで使用されていますか？</li> <li>• 発行BINは規制報告に使われますか？</li> </ul>

# Visaカード番号体系の用語

新しい用語	古い用語	説明	出典
発行BIN	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行識別番号 (BIN)</li> <li>カード発行金融機関識別番号 (IIN)</li> <li>ISO BIN</li> <li>カードのプレフィックス</li> </ul>	これは、カード発行金融機関を識別するために使用される数値です。PANの最初の6桁から8桁と常に同じものです。長さや形式はISOによって定義されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visaからライセンス済み</li> </ul>
取得識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>取得BIN</li> <li>取得機関の識別コード</li> <li>アフィリエイトID</li> <li>取得ID</li> <li>取得RID</li> </ul>	これは、取得する機関を特定するためにVisaが割り当てる数値です。これまではISOプールから割り当てられていましたが、今後はVisaが割り当て、6桁のままになります。これには、アメリカでPlusとインテリリンクに関連して現在割り当てられている取得IDが含まれます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>V.I.P.が、取得機関のIDコードを通知</li> <li>BASE IIドラフトデータ — 加盟店契約会社参照番号</li> <li>BASE II非ドラフトデータ (TC 10/20/33) — ソース/デスティネーション識別子</li> <li>SMS報告: <ul style="list-style-type: none"> <li>加盟店契約会社取引詳細報告 — アフィリエイトID</li> <li>カード発行金融機関取引詳細報告 — 加盟店契約会社ID</li> </ul> </li> <li>パッケージBINテーブルを編集</li> </ul>
発行識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>処理規則 (Proc規則としても知られる)</li> <li>発行RID</li> <li>RID</li> </ul>	これは、発行処理を定義するのに使われる数値です。ISOには準拠していません。複数の発行BINを、Visaシステム内の同じ発行識別子にリンクすることができます。これにより、処理/ルーティング構成をミラーリングすることが可能になります。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>V.I.P.要求メッセージ: <ul style="list-style-type: none"> <li>受領機関IDコード</li> <li>発行機関IDコード</li> </ul> </li> <li>V.I.P.応答メッセージ — 転送機関識別コード</li> <li>BASE II非ドラフトデータ (TC 10/20/33) —</li> <li>ソース/デスティネーション識別子</li> <li>SMS報告: <ul style="list-style-type: none"> <li>カード発行金融機関取引詳細報告 — カード発行金融機関ID</li> </ul> </li> <li>パッケージを編集: ARDEF</li> </ul>

新しい用語	古い用語	説明	出典
VSSプロセッサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>処理業者 (Processor)</li> <li>決済BIN</li> </ul>	これは、V.I.P.フルサービスエンドポイントの決済エンティティを定義するために使用される数値です。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告／参照テーブル: <ul style="list-style-type: none"> <li>SMS報告、加盟店契約会社取引詳細報告 — プロセッサー</li> <li>SMS報告、カード発行金融機関取引詳細報告 — プロセッサー</li> </ul> </li> </ul>
BASE IIセンター情報ブロック (CIB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>プロセッサーBIN</li> <li>CIB</li> </ul>	これは、BASE IIフルサービスエンドポイントのプロセッサー／決済エンティティを定義するために使用される数値です。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>BASE II TC 90ヘッダー記録</li> <li>報告／参照テーブル: パッケージBINテーブルを編集</li> <li>パッケージARDEFを編集</li> </ul>
デリバリーエンドポイント識別子ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>Non-core numeric識別子 (NCNID)</li> </ul>	これは、特定のエンドポイントを特定するために使われる数値です。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。従来はゼロで始まりますが、目的によって異なる場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告／参照テーブル: <ul style="list-style-type: none"> <li>BINライセンス契約</li> <li>クライアント情報アンケート (CIQ)</li> <li>Visaオープンファイルデリバリー (Visa OFD) ファイルネーム</li> <li>エンドポイント図表</li> </ul> </li> </ul>
レスポнда識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>レスポндаBIN</li> </ul>	加盟店契約会社およびカード発行金融機関のために、VisaNet認定管理システム (VCMS) において、ビジネス拡張テスト、基礎取引テスト、回帰テストなど、Visaが作成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル テクニカルレターおよび実装ガイドの第14章</li> <li>VisaNetテストガイド</li> </ul>
清算識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>清算BIN</li> </ul>	Visaにより割り当てられ、発行および／または取得BASE II処理を定義するために使用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visaテストシステム- 清算および決済 (VTS-CS)</li> </ul>
代替ルーティングID (RID)	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>ルーティングID</li> </ul>	これは、特殊な処理またはルーティング関係を定義するために使用される数値です。ATM、POS、または例外取引を代替の宛先に分割ルーティングするために使用できます。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルーティングID要求</li> <li>クライアント情報アンケート (CIQ)</li> </ul>
暗号化規則識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>BIN</li> <li>暗号化BIN</li> <li>擬似BIN</li> <li>ルーティングID</li> </ul>	これは、正しいキーが特定のエンティティに関連付けられていることを確認するために、Visaシステムロケータとして使用される数値です。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備リクエストを推進</li> <li>動的キーの交換</li> </ul>

新しい用語	古い用語	説明	出典
Visa Resolve Online (VROL) 識別子	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルーティングID</li> </ul>	これは、さまざまなVROL組織を識別するために使用できる数値であり、特定の異議申し立てとコピー（RFC）取引の要求へのエンドポイントアクセスを可能にします。これはどのような数値でもよく、4から始まる必要はありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>VROLサービス有効化</li> <li>クライアント情報アンケート（CIQ）</li> <li>カード発行金融機関RFCルーティングID：               <ul style="list-style-type: none"> <li>- BASE II TC 52</li> <li>- V.I.P. 0600、</li> </ul> </li> <li>フィールド48—追加</li> <li>データ—プライベート</li> </ul>

- Visaは、新しい識別子名を反映するためにVisaNet文書を更新中です。発行日は異なります。特定の文書の発行日についての詳細は、カード番号体系サポート(NumericsSupport@visa.com)、または地元のクライアントサポート担当者へお問い合わせください。
- 2022年4月以降、Visaは、新たに要求される発行BINに対し、8桁のBINのみを割り当てます。既存のBINは、カード発行金融機関が8桁への移行を選択しない限りは6桁のままで維持されます。